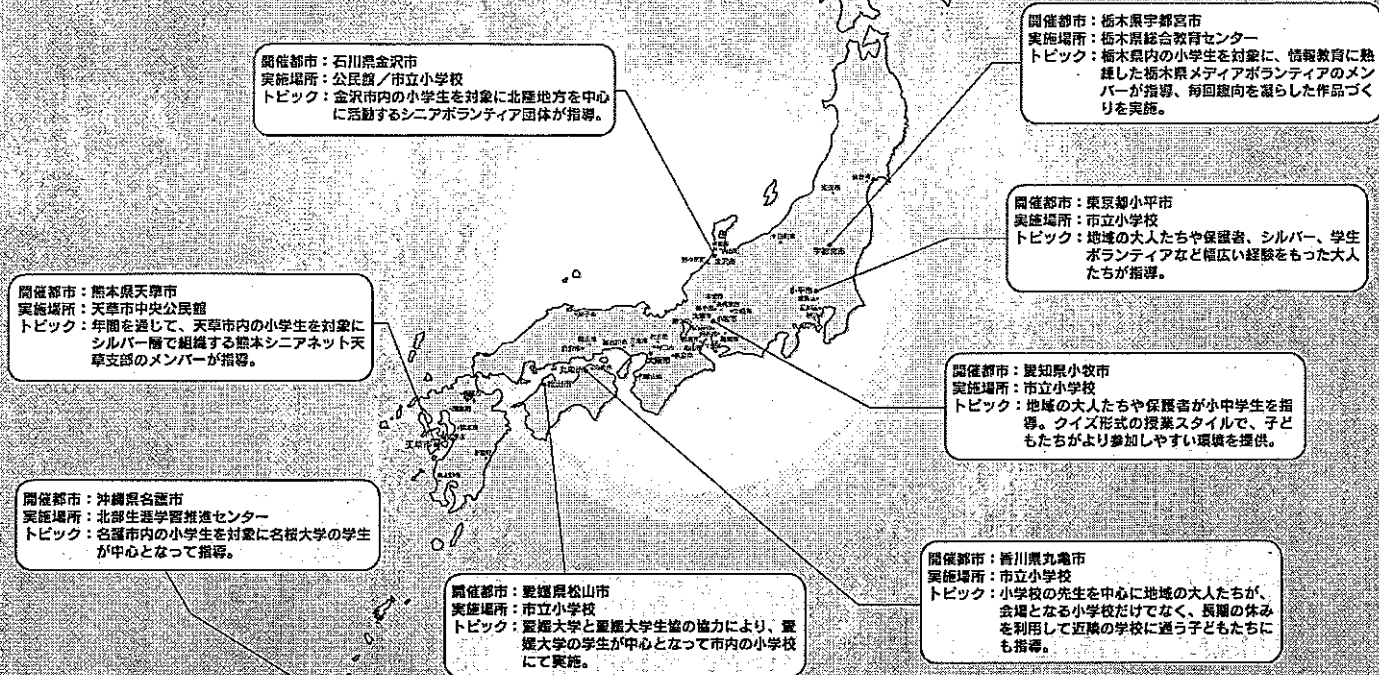



インターネット子ども教室 平成18年度・実施予定マップ

インターネット子ども教室



平成18年6月現在



「子どもたちの判断力を育む」
東京電機大学教授
高橋 時市郎


Webやメールなどインターネットを通じて子どもたちのコミュニケーションの世界は急速に広がっています。

実際にインターネットを使うときに起こる危険な状況を、体験型教材を通じて学ぶのが、インターネット子ども教室です。ルールや対処法を覚えるだけでは、日々進化するインターネット社会には対応できません。

体験型教材は、子どもたち一人一人の正しい判断が迷う場合には、その結果も違うような仕組みになっています。この教材を学ぶことによって、様々な場面でどうしたらよいかを具体的に考え、判断する力を育むことができます。

インターネット子ども教室は、放課後や週末に学校や公民館で開催されます。

インターネット初心者にはボランティアの方や大学生が親切に教えます。ぜひ、インターネット子ども教室に参加して、安全に安心してインターネットを活用できる知識と判断力を身に付けましょう。



◎大城パソコン倶楽部を結成
『愛知県小牧市』
E場所メディア塾
出口 美紀


4年前、小学校のPTAサークルとして「大城パソコン倶楽部」を結成しました。

パソコンのスキルアップでなく、「PCを使って何か出来るか」と「一人の失敗はみんなの学び」としてアナログを通じて人的ネットの構築を計っていました。

子どもメディアフォーラムのソフトを見せたいので自分達が苦労して今まで企画したもの、とてもわかりやすく楽しんで使えるソフトに感激し、参加を申し出ました。

スタッフも、他校の同じ視点を持った人たちに声をかけ11名のスタッフに、小3から中2までの個性豊かな子ども達26名と毎回独自スタイルで楽しく学んでいます。

インターネットの危険性を学びながらもインターネットの楽しさをみんなで分かち合うことをポイントに置いています。そして今後の子ども達とは「PCを通じて何でも話せる近所のオバサン」になれるよう心がけています。



◎シニアと子どもたちが一緒に活動
『熊本県天草市』
熊本シニアネット天草支部
金澤 裕蔵

「子ども」・「シニア」・「公民館」を連携することによって、公民館を心豊かで、たくましい子どもを育むための地域の拠点にしたいというねらいで、新しい課題になっている子どもとインターネットというテーマに取り組みました。

「インターネット子ども教室」に、独自に作成した体験教材を加え、子どもとシニアが楽しみながら学校とはちがった学習をすることができました。

インターネットの危険性・マナーなどをワクワクしながら学習できる体験教材があったから成功したと思います。

天草市中央公民館 6月～翌年2月(3時間×17回×午前の部、午後の部)各12名(小学校4～6年) 隔週土曜日開催
補助講師(シニアボランティア)5名/回

◆子どもメディアフォーラム運営協議会◆
<http://kodomo-mf.jp>
TEL:0120-346-661 (フリーダイヤル)
(受付時間: 9:00～17:00)
e-mail:support-kmf@ntt.com

インターネット子ども教室	カリキュラム	対象年次	時間数
子どもたちの身の周りの安心・安全学習教材	子どもインターネット安全教室	小3～小6	48時間
	子ども生活安全教室	小1～小6	6時間
	子ども食の安全教室	小1～小6	8時間
学力向上教材(放課後学習クラブ)	小学校(国語)	小1～小6	100時間
	小学校(算数)	小1～小6	100時間
	小学校(英語)	小1～小6	100時間

◆お問い合わせ◆

関係団体連絡先等登録票

運営協議会名	全国民間団体運営連絡協議会
問い合わせ先	【貴団体の活動内容に対する、地方公共団体からの問い合わせ先について、下欄にご記入下さい】
(団体名)	(特)NPO推進ネット
(担当者)	事務局 竹内 延彦
(連絡先) TEL FAX E-mail	03 - 5785 - 1570 03 - 5785 - 1571 ibasyo-kyogikai@npo-suishin.net
(ホームページ)	http://ibasyo-kyogikai2006.seesaa.net/
広報のポイント	これまで各地域において長年活動実績を蓄積してきたNPO法人ほか民間団体が、全国36都道府県にまたがったネットワークを築きつつ活動を展開しています。協議会直轄事業のほか、全国を13のブロックにわけ、それぞれに実行委員会を設置し、日々現場と密に連携しつつ、子どもたちの安心安全な居場所づくりに努めています。ぜひ、今後とも、そのような地域に根ざした民間団体を活用いただきますよう切に希望いたします。